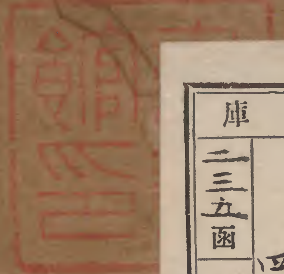


日本養子説

非火葬論

地



内閣文庫			
三五函	八	八六	和書
三架	冊	八	類

甘雨亭林叢書

類抄叢聚十五

内閣文庫		
番號	和	18683
冊數	48 (42)	
函號	217	47



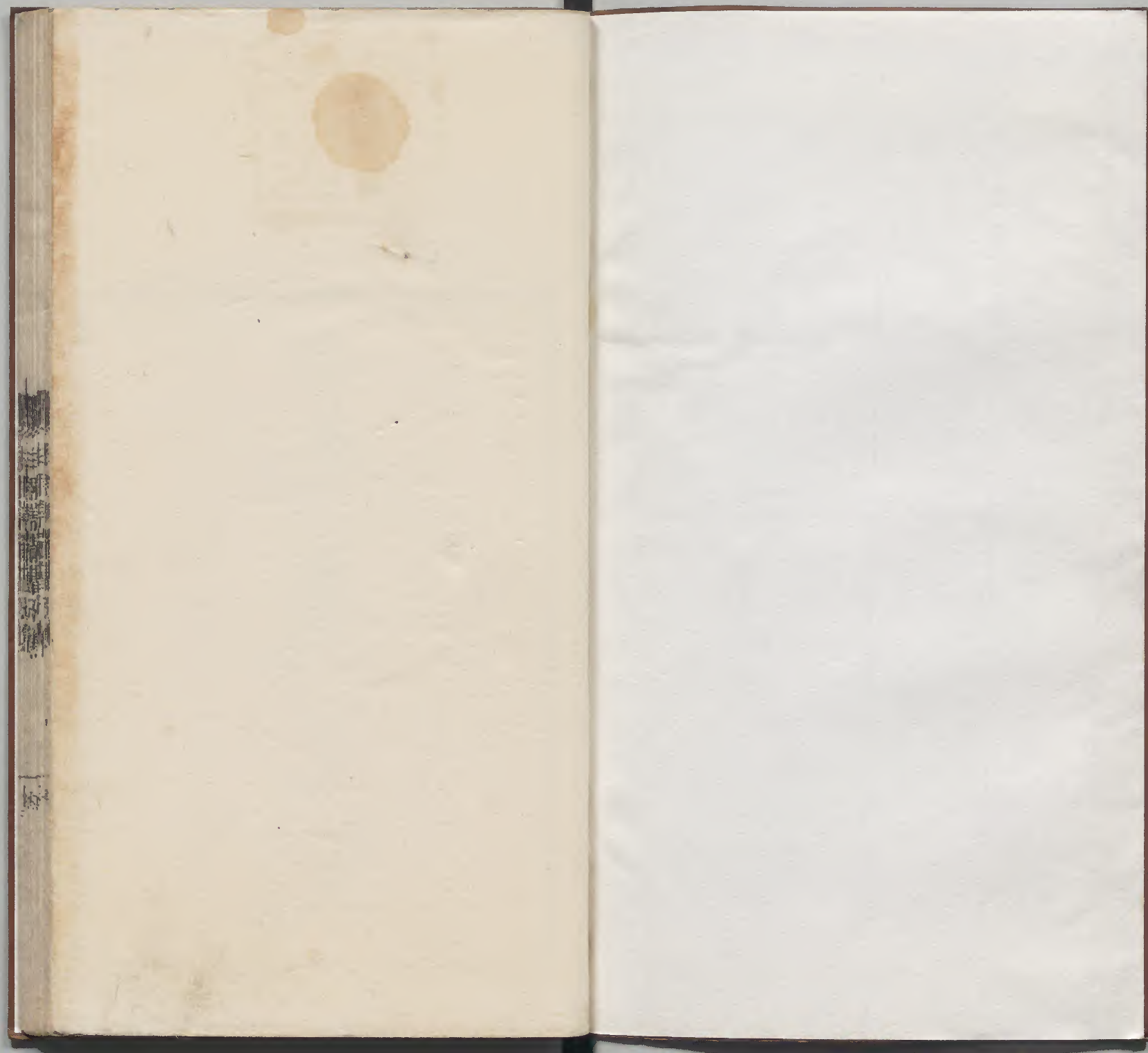
A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





日本善心子説

日本養子説

日本養子説

淺草良頭著

神代卷曰。天照大神勅曰。原其物根。則八坂瓊之五百箇。御統者。是吾物也。故彼五男神。悉是吾兒。乃取而子養焉。

是我國養子の始なり。天位を以てしむる御血統をつぎ
 むる一子物根を以てしむる五男神を御養子とする事なり

忍徳耳尊ハ天位を以てしむる五男神ハ御助とする事なり
 さく上古氣化出たりて男女多く出生る一上古り養子の沙

汰すはなり成務帝の皇子女なり日本武尊の御

日本養子説

子を産むと位を禊りて、仲哀帝是なり又 清寧帝
 皇子を産むに 履中帝の御末裔播磨國に流浪し
 御身も身をてをむを給ふに御位を禊りて
 頭宗帝 仁賢帝是なり其後 武烈帝暴悪して崩し
 皇子を産むに 大伴金村の大連の計ひて
 仁徳帝の御末裔國より遷りて即位す
 繼體天皇より是ハ御養子よりハ御名ハちてハ代皇統
 一脈の御相傳よりハ御名ハちてハ代皇統
 双の神國より遷り 今上皇帝よりハ御名ハちてハ代皇統

有り雜に御事なり未代より氣化はる上下男女
 生むるも古よりハ子に生むるもハ義なりハハハ
 一脈より先ツ神代御授の脈一脈を御授めお授
 一脈を御授めハ他姓を産む其家を禊りてハハ
 草木も接木を産むハ小梅の木も臺として此後梅をつ
 一脈の氣を御授け給ふにハ梅の氣を御授け給ふに
 一脈の氣を御授け給ふにハ梅の氣を御授け給ふに
 他姓の氣を御授け給ふにハ梅の氣を御授け給ふに
 桃の氣を御授け給ふにハ梅の氣を御授け給ふに



接木より他姓へ接木する事は一理なき事なり
かりしは大本を以てする特にならず日本の陰陽五行を以て
日本を以てする人其木の木の接木を以て異國の人を以て
してはたまた木の木の接木を以て其木の木の接木を以て
なり人の木の木の接木を以て其木の木の接木を以て
日幸より来る福祀を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
其家の為り孝心を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
思を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を

めはハ其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
大切を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
食より他姓の人を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
道程より其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
背より其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
臣下の筋目功業を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
他姓の養子を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を
説の形より其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を以て其木の木の接木を

甘雨集 日本養子説 三

了句協同姓の全を以て一姓と爲す世姓と爲すを非終
 かり異國の私記を以て爲人後者爲其私親降一等と爲す
 ありあり是を天子大夫と爲すを名を以て爲人の有るを以て
 たりとのハ吾の親類と爲す一等は服を以て爲すなり
 天地自然苦子のなきてけりぬ送死もあはれくそ世俗竟
 舜の事を天子と爲すは誤りなり始終ともく竟ハ唐竟と云
 舜ハ虞舜と云く代の名を以てり氏も別たり竟の血脉ハ
 丹朱と云く舜の血脉ハ商均と云く舜の次爲と云く之
 たらん同なる又云く言ふ猶子と云くを天子と云くは誤り

けり礼記の本文よりや兄弟の子ハ猶子と云くは誤りなり
 猶子と云く甥の事を以て諸書に誰を猶子と云くは誤りなり
 たりやまると又同姓を要すハ周の法より周の世以前の
 此れを以て我國よりかゝる同姓を以てりは誤りなり上古の
 やり姉妹嫁とも要すハ別を以て禽獸の如くは誤りなり
 法より西土の用の代世風なりは誤りは法よりは誤りなり
 の遠き同姓ハももも其嫌を以て西土の風を以て概論せり
 〰〰〰

享保壬寅歲十月日

光海翁識

甘雨亭叢書別集

日本養子説

四

跡部氏日本養子說。借抄于大澤侍從家。按此論
必有為而作也。方今之時。比屋養子。率多他姓。此
論可以釋言矣。己未孟冬六日。杏花園

日本養子說終

北山養子論